

授業科目 筋電図学

【担当教員名】 大 西 秀 明		対象学年	2	対象学科	理学・作業
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】 理学療法・作業療法の対象者は、何らかの原因によりスムーズな動きが困難である場合が多い。スムーズな身体運動を行には骨格筋の正常な活動が必要である。筋電図は各種動作時における骨格筋の活動を体表から記録したり、神経系に何らかの刺激を与えて骨格筋の反応を記録したものである。そのため、筋電図を利用することにより様々な側面から身体機能を評価することができる。本講義では、理学療法士・作業療法士が知っておくべき内容に焦点をあてて筋電図の基礎から応用までを講義する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 筋電図とは何か説明できる 2. 動作額の筋電図の計測法・解析法の内容を説明できる 3. 反応時間、電気力学的遅延について説明できる 4. 誘発筋電図について説明できる 5. 筋電図波形を解釈できる 6. 筋電図の応用について説明できる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	筋電図とは			1	大西 / 講義
2	動作学的筋電図計測法			2	大西 / 講義
3	動作学的筋電図解析法			2	大西 / 講義
4	反応時間、誘発筋電図			3	大西 / 講義
5	筋電図のみかた			4	大西 / 講義
6	筋電図解析演習Ⅰ			5	大西 / 講義・演習
7	筋電図解析演習Ⅱ			6	大西 / 講義・演習
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		6ステップ臨床動作分析マニュアル		文光堂	2005・5,200円
その他の資料					
【評価方法】 授業態度、課題、小テスト、試験結果などを併せて総合的に評価する。		【履修上の留意点】 授業の後半部分ではパソコンを利用した筋電図の解析演習を行うので、自らのパソコンを持参すること（1回目の授業では必要ない）。			